



# 幸区区民会議だより

<http://www.city.kawasaki.jp/63/63saiwai/home/index.html> 7号

平成19年12月18日

発行 幸区役所総務企画課  
企画調整担当

電話 (556) 6612

FAX (555) 3130



## 19年度第3回幸区区民会議を開催しました

11月27日(火)午後6時30分から、19年度第3回幸区区民会議が幸区役所第一会議室で開催されました。

会議では、「自転車に係わる交通安全」と「地域でのごみ減量化・リサイクル」の2つの審議テーマについて、部会からの中間報告をもとに審議を行いました(2、3ページに掲載)。

また、区民会議提言に対する取組状況(4ページに掲載)や、20年度協働推進事業の考え方の報告が行われました。

第4回幸区区民会議は、平成20年2月上旬～中旬に行い、提言をまとめる予定です。

## 審議結果

### □審議事項

- (1) 「**自転車に係わる交通安全**」について  
自転車の走行環境改善と交通ルール・自転車マナーの啓発を進める方向でとりまとめていく
- (2) 「**地域でのごみ減量化・リサイクル**」について  
地域で3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組を進める方向でとりまとめていく
- (3) **仮称「さいわい区民フォーラム」の共催**について  
平成20年3月15日(土)午前10時から幸市民館大会議室で開催予定

### □報告事項

- (1) 幸区区民会議からの提案に対する取組について
- (2) 20年度幸区協働推進事業の考え方について

### □その他

次回区民会議日程、平成20年2月上旬～中旬予定

## 委員名簿

□区民会議委員長 ◇区民会議副委員長

◎専門部会部会長 ○専門部会副部会長

### 専門部会A：安全・安心・すこやか部会

委員名	推薦団体もしくは公募(公募にあたり提案した内容)
青山 一	幸区自主防災連絡協議会
荒井 康男	幸区医師会
○小林 豊	川崎市幸区社会福祉協議会
齋藤 茂	幸区PTA協議会
佐藤 忠次	幸区文化協会
◎末兼 卓	公募(地域災害対策の推進)
綱川 幸子	幸区老人クラブ連合会
萩原 保夫	幸区民生委員児童委員協議会
□葉山 直次	幸区保護司会
安岡 信一	川崎市幸区交通安全対策協議会

### 専門部会B：子育て・環境・魅力づくり部会

委員名	推薦団体もしくは公募(公募にあたり提案した内容)
◎今井 淑子	さいわい市民活動懇談会
小保方健次	幸区子ども会連合会
小島 春男	幸区町内会連合会
酒井 道子	公募(子育て世代に優しいまちづくり)
◇庄司 佳子	さいわいリバーウォッチング実行委員会
菅野 勝之	幸区まちづくり推進委員会
成田 信子	公募(子どもの安全についての課題解決)
根本 健	公募(緑化推進)
深瀬 和則	日吉商店街連合会
○松世三重子	夢こんさと実行委員会

# 安全・安心・すこやか部会

## テーマ「～自転車に係わる交通安全～」

### 検討の状況

自転車に係わる交通安全についてのルールや取組状況などについて、市民局や幸区役所建設センターからの説明により整理。

現状と課題をふまえ、具体的な検討事項と検討の方向性を検討しました。

### 現状と課題

- ◎幸区では、自転車事故が多い（平成18年、231件）
- ◎自転車と歩行者の分離など、自転車の走行環境が不十分
- ◎自転車が車両であることの認識や交通法規への理解が不足
- ◎交通ルールと自転車利用のマナーが守られていない

### 検討の方向性

(○：主な意見)

#### (1) 自転車が安全に走行できる環境づくりを進める。

##### ■自転車の走行空間を確保することが重要

- 街渠（※）と路側帯を含めて、走行空間として活用したらどうか
- 今ある道路の現状を工夫して考えてはどうか

※街渠（がいきょ）とは、路面排水のため、道端に設けられる舗装された浅い水路のこと。  
(右図参照)



##### ■自転車歩行者道については自転車が通れることを知ってもらう必要がある

- 自転車通行可の標識を路面に印刷したらどうか

##### ■交差点について

- 交差点の整備、安全確保を行う必要がある

#### (2) 交通ルールの遵守・マナーの向上を進める。

##### ■自転車のルールを知らない人が多いのではないか

- 交通ルールについて、知らずに自転車に乗っている人が多いと思うので、小・中学校だけではなく、一般の人たちにもルールがわかるようなものを開いてほしい

##### ■自転車教室や自転車のマナー啓発活動についての意見

- 学年毎に自転車教室を行ったらどうか（中学校や高校でも）
- 区内で開催される各イベントで、啓発活動を行ったらどうか
- 町内会等で自転車教室を開催したらどうか
- 区内の企業も巻き込んでマナー啓発活動をしたらどうか
- 親子乗りをしたり、3、4歳でもう自転車に乗っている子もいたりするので、ルール・マナーを母親学級等の場を利用して、保護者にまず知ってもらう必要がある



##### ■マナーの悪い人に指導する必要がある

- 自転車マナーの悪い人に、一般市民も注意できる資格があったらどうか
- ルールを教宣する方法として、町内会単位で人を集めて、防災訓練のような形で警察にも来てもらい、まちの中で実際にルールの勉強をしてはどうか



# 子育て・環境・魅力づくり部会

## テーマ「～地域でのごみ減量化・リサイクル～」

### 検討の状況

環境局からの説明により、ごみの排出状況、ごみの処理・リサイクルの状況などテーマに係わる現状と課題への理解を深めながら、具体的な検討事項と検討の方向性を検討しました。

### 現状と課題

- ◎依然として高水準のごみ量  
資源物も含めたごみの総排出量は、約34万3千トンで幸区は約3万2千トン（平成18年）
- ◎伸び悩む資源化量  
資源集団回収量（※）は約5万2千トン、幸区は約5千トンで横ばい（平成18年）
- ◎多額のごみ処理費用と埋立処分場の限界  
ごみ処理費用は年間170億円を超えている。埋立処分場の埋立量には限界がある。
- ◎情報の共有化の推進  
情報を積極的に提供し、環境学習の機会を広げていく必要がある。

※資源集団回収とは、市内の家庭から排出される資源化物（古紙・古布・生きびん等）を市民が集団で回収する事業です。回収された資源化物は、リサイクル業者に引渡され、リサイクルされます。  
市では、廃棄物の減量化及び資源の有効利用を図るため、助成を行っています。



（○：主な意見）

### 検討の方向性

- （1）**ごみを減らす取組として(レジ袋でなく)マイバックを利用しましょう**
  - マイバックの利用を促進するためには、商店街と一緒にマイバック利用を奨励する取組などを検討していきたい
  - エコ風呂敷をセットで持ち歩くようにすればいいのではないか
- （2）**「出前ごみ講座」等を開催して、地域で3R（※）の取組を知ってもらいましょう**
  - 区民ひとりひとりが、ごみの減量・資源化の必要性を理解して、協力してもらうことが必要ではないか
  - 環境局で行っている講座を町内会などとの協力により、開催していくことを検討したい
  - 「愛の街かわさき」をBGMとして、3Rを推進しましょうということをしったり、ステッカーをつくって、ごみの集積所に張ったり、視覚等に訴えて広報することも大切ではないか
- （3）**地域での資源集団回収を広めましょう**
  - 実施地域は多いが、実施回数にバラつきがある。月1回では、出し忘れたときに普通ごみに出されてしまうので、なるべく身近なところに資源回収の場所を設けて、毎週回収車が回ってこられるような仕組みを考えていけたらいい
  - マンションや団地等については1カ所に置けるが、地域においては資源物を置く場所がないので、資源物を集める業者と協力する体制をどのようにつくっていくかが課題

※3Rとは、**リデュース**（ごみを減らす・排出を抑制する）、**リユース**（ものを繰り返し使う）、**リサイクル**（ものを資源として再生利用する）のことです。  
市では、「かわさきチャレンジ・3R」として、ごみの減量・リサイクルを推進しています。

# 幸区区民会議からの提言に対する取り組み状況

(平成19年11月27日現在)

## 「地域防災活動の推進」

～避難所の運営訓練から広げよう、助け合う地域のちから～

提言

- 避難所運営を行い、地域の関係団体が役割を分担して、より実践的に取り組みます。
- 避難時に救護の必要な人への対応策を検討していきます。

取組状況

- ◆塚越中学校・古川小学校・小倉小学校・看護短期大学の4つの避難所で避難所運営会議を開催
- ◆全市的な取組として、災害時要援護者避難支援制度が12月からスタート
- ◆秋の防災訓練において、要援護者の安否確認・移送訓練を実施

## 「魅力づくりと市民活動の推進」

～知ってもらおう！地域の生活を豊かにする活動 一つひとつがつながることで広がる魅力～

提言

- 各団体が横につながる取り組みを進めるよう、各団体の接点をつくっていこう
- 地域のさまざまな団体がつながるように、取り組みの活性化を図るため、情報提供をしていこう

取組状況

- ◆「日吉の『わっ』～日吉のタカラモノを次世代につなげるネットワーク」が、矢上川でエコツアーを実施
- ◆区役所前庭で、「あおぞら花市」と「さいわい街かどコンサート」を合同で開催
- ◆幸市民協働プラザの利用促進と市民の協働の参加を目的に、幸区協働事業フォーラムを開催

## 「身近な地域での高齢者の健康づくり」

～健康づくり応援団を立ち上げて 高齢者の健康づくりを地域で進めましょう！～

提言

- 地域での健康維持・増進の取り組みを進める
- 健康づくり・介護予防の情報発信を進める
- 取組の推進の方策として、仮称・幸区高齢者健康づくり応援団を立ち上げる

取組状況

- ◆身近な地区での地域住民の健康づくり活動を展開するモデル事業を実施する予定
- ◆提言を推進する地域団体からの事業提案を受けて取り組みを進めていくことを検討中
- ◆仮称・幸区健康づくり応援団の内容を検討中

## 「安心して子育てできる環境づくりづくり」

～子どもたちが地域の中で健全に成長できるように、地域全体で子育てを支えていく取り組みを進めましょう～

提言

- 子どもと安心・安全に遊べる居場所、子育て交流の場づくりを進める
- 読み聞かせや音楽の親子体験など子どもの豊かな心をつちかう機会を増やす
- 子育てに関するニーズの把握と子育て情報の発信を充実させる
- 「ふれあい子育てサポート」のヘルパーを増やして働くお母さん・お父さんの子育てをサポートする

取組状況

- ◆地域子育て支援センターふるいちばの第3土曜日開所を継続する予定
- ◆12月から園庭開放の取組に併せて、絵本の読み聞かせを実施
- ◆幸区ホームページに子育て支援の専用ページの開設を検討中
- ◆平成20年1月18日、22日に区役所で、ふれあい子育てサポートヘルパーの養成講座を実施する